

# 国際ロータリー第2640地区 ロータリー財団地区セミナー

～ロータリー財団の大きな変革について～

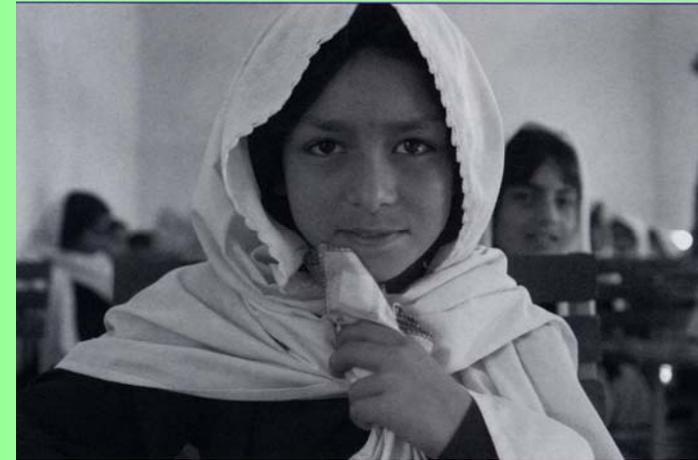
【2012年1月28日(土)】



・ウガンダの農村部では、ロータリー財団の保健・飢餓・追放・人間性尊重(3-H)補助金のおかげできれいな水がもたらされました。



・診療所でワクチン投与する、ロータリーフェロー  
(2650地区) —ガダルカナル—



未来の顔:アフガニスタンではロータリー・クラブの援助により、学校に通う女生徒が増えました。

- ・2003～06 ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)
- ・RI2650地区パストガバナー
- ・RI2650地区ロータリー財団委員長

宮崎 茂和(福井RC)

# 財団のFuture Visionに対する ロータリアンとしての心構え

- 私達が主役
  - 相手も主役
- }      ロータリアンとして、理想的なプロジェクトを行なう。
- 
- 一方的なロータリーの理念から外れた奉仕は成果が得られない。奉仕はやらせていただくもの。



飢えに苦しむ人たち。痩せ衰えてサックに入れ、体重測定するアンゴラの子ども。

ロータリーの友 2006年1月号より

# RIの使命



## RIの使命

私たちは、他人に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進する。

# RI 2010～13年度 長期計画



## 標語: 超我の奉仕

1. クラブのサポートと強化
2. 人道的奉仕の重点化と増加(ポリオを含む)
3. 公共イメージと認知度の向上

## 中核となる価値観

- 奉仕
- 親睦
- 多様性
- 高潔性
- リーダーシップ



# 財団の使命

## 財団の使命

ロータリアンが健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること。

## 財団 2010～13年度 未来の夢計画

標語：世界でよいことをしよう

1. ポリオの撲滅
2. 全てのプログラムと運営の簡素化
3. プログラムの成果も内容も未来の夢計画に沿ったものにする
4. 地区レベル、クラブレベルにおいてロータリー財団へより一層参加し、ロータリー財団を自分達の財団と自覚する
5. プログラムの目標達成のための十分な資金と人材の提供
6. 未来の夢計画を支える効果的な方策の開発

# ポールP・ハリスの言葉



- ・国際ロータリー ⇒ 創立してから107年
- ・ロータリー財団 ⇒ 創立してから95年

世界は常に変化している

ロータリーは、この世界と共に

変化して成長していかなければならない

ロータリーの物語は

幾度も書きかえられねばならない

ポールP・ハリス



国際ロータリーでは長期計画

ロータリー財団ではFuture Vision(未来の夢計画)

# 財団が Future Vision を行なわなければならない理由

現行のままでは、ロータリー・TRF(財団)の将来はなくなる。



マンネリ化して徐々に衰退の途を歩むことになる。



**危機感!!**



# 夢計画が必要な理由①

急激なプログラムの成長 ⇒ 仕分けが必要

- 1965年～2000年(35年間) :  
10,000件のマッチング・グラント
- 2000年～2004年(4年間) :  
10,000件のマッチング・グラント
- 2009年～2010年 :  
マッチング・グラントの件数 ↑  
(8月末で資金は枯渇)



(バイオ・サンドフィルターで生成された浄水)



# 夢計画が必要な理由②

## 15の異なるプログラム ⇒ 簡素化

1. ポリオ・プラス (ポリオプラスパートナー)
2. ローターリー平和および紛争解決研究
3. 文化研修のための国際親善奨学金
4. マルチ・イヤー国際親善奨学金
5. 1学年度国際親善奨学金
6. 大学教員のためのロータリー補助金
7. 財団奨学生地域セミナー助成金
8. 低所得国のための奨学金共同基金
9. 研究グループ交換
10. 財団学友
11. 地区補助金
12. マッチング・グラント
13. 3-H補助金
14. ボランティア奉仕活動補助金
15. 災害復興



教育的プログラム

人道的プログラム



## 夢計画が必要な理由③

### 「応急処置」にとどまるやり方

- 多数の小額補助金の取り扱いは経費上効率が悪い
- 2000-05年度補助金の大半は、緊急な問題に取り組んだが、持続的な成果をもたらすものではなかった→「線香花火のような奉仕」



## 夢計画が必要な理由④

### 成果を持続することが出来ない

- 大規模なプロジェクトからは、大きな見返りが期待でき、成果の持続も望める

リソースを長期的な計画に基づいて使用  
= 成果の持続



- プロジェクトを継続することで、地域のニーズをより完結する  
⇒ 地元での自主継続に繋げる



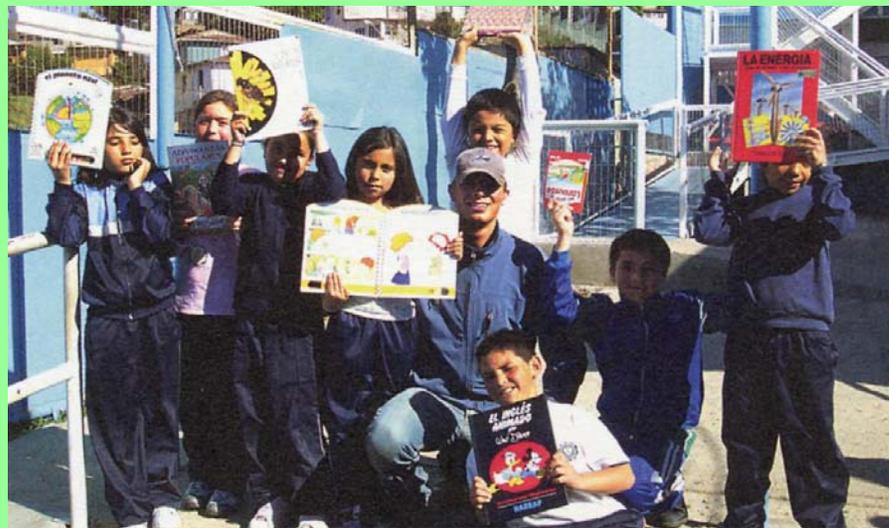
## 夢計画が必要な理由⑤

ロータリーのイメージブランドとしての存在が低い  
(公共的イメージ)

- 成果を持続することによってロータリーに対するイメージをアップ、世界で認識され、選ばれる団体としての存在



バイオスローサンドフィルター  
⇒浄水精製の作業



識字率向上(絵に色がついている)

# ロータリー財団の背景と変革

1. 急激なプログラムの成長・・・仕分け⇒地域とグローバルな奉仕に大別する必要性
2. 15の異なる複雑なプログラム・・・簡素化
3. 単年度のプロジェクト・・・「応急処置」にとどまるやり方・・・継続性がない
4. 地域でプロジェクトを継続することで・・・持続的な大きな成果・・・ロータリーのイメージの向上  
など



# 未来の夢アンケート調査の結果 〔10,000名をアトランダムに選出〕

## ロータリアンの最優先事項

- 教育と識字率を改善する。
- 飢餓をなくす。
- 環境改善(きれいな水)は飢餓と直結している。
- 疾病の予防と治療。 など

- そのためには・・・
1. 財団プログラムの簡素化
  2. 国際的な活動と地元の活動のバランスを図る
  3. 大きな成果をもたらし、持続的なプロジェクトに焦点をあてる
  4. 決定権をある程度地元を与える
  5. ロータリーとしての公共的イメージの高揚 など

# 調査：ロータリアンからの意見

- ・ プログラムの項目を**簡素化**し、的を絞る
- ・ プログラムの**バランス** — 世界と地元地域
- ・ **持続的で大きな成果**に焦点を当てる
- ・ 「自分たちの財団」であるという**自覚**を持たせる  
— 地元**に決定権**を移行
- ・ 国際的なプロジェクトの協力団体として真っ先に**選ばれる組織**となる

など



# 未来のプロジェクト

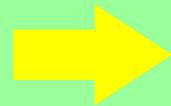
## 委員会の「五つのテスト」

- 簡素であるか？
- プロジェクトに対するコスト効果が適切か？
- 多くのロータリアンが関与しているか？
- 明らかに成果を持続できるか？
- RI及び財団の使命に沿っているか？

5つのテストでプロジェクトの採択と承認が決まる

# 財団への寄付

財団の寄付



「世界でよいことをしよう」

- 年次プログラム基金（年次寄付）

〔EREY: 毎年あなたも100ドルを〕

- 恒久基金

〔2025年には基金を10億ドルに〕

- 用途指定寄付

〔ポリオプラス、世界平和フェロー、人道的プログラムなど〕

# 2010、2011年度 寄付状況

## RI2640地区

年度	一人当たり	日本での 順位	年次寄付	日本での 順位	使途指定	恒久基金	総合計
2010	\$187.94	2位	\$419,670.52	4位	\$31,241.63	\$27,700.00	\$478,612.15
2011	\$174.75	7位	\$387,943.88	9位	\$52,917.57	\$26,987.67	\$467,849.12

## RI2650地区

年度	一人当たり	日本での 順位	年次寄付	日本での 順位	使途指定	恒久基金	総合計
2010	\$178.18	3位	\$858,455.06	1位	\$86,882.96	\$199,566.46	\$1,144,904.48
2011	\$188.10	3位	\$878,047.37	1位	\$145,650.61	\$116,662.71	\$1,140,360.69

# 3年間のパイロット地区として 選ばれました!!

- 世界の地区数 531
- 世界で選ばれたパイロット地区 100
- 日本の地区数 34
- 日本で選ばれたパイロット地区数 6

第1ゾーン … 2770地区、2830地区

第2ゾーン … 2580地区、2760地区

第3ゾーン … 2650地区、2690地区

第2650地区こそ、95年間続いた財団の中で  
光り輝き続けている！

# 「覚書」と「授与と受諾の条件」

## 覚書 (MOU)

1. 参加資格条件
2. 参加資格に関する地区役員の責務
3. 銀行口座に関する要件
4. 財務管理計画
5. クラブの参加資格
6. 書類の管理
7. 補助金の使用に関する報告
8. 補助金資金の不正使用に関する報告と解決方法

## 授与と受諾の条件

新地区補助金とグローバル補助金は、**地元地域社会と海外**において、幅広い様々な人道的・教育的活動を支援するものである。

- これらの補助金を利用する全てのプロジェクトと活動は、**以下に該当しなければならない。**
  1. ロータリー財団の使命に関連していること。
  2. ロータリアンが積極的に関与すること。
  3. ロータリー財団、または国際ロータリーに対し、何の責任も負わせないこと。
  4. 米国および活動実施国の法律を遵守すること、また個人あるいは団体に害を与えないこと。
  5. 実施に先立って審査され、承認された活動のみに使用すること。承認前に経費を支出することは出来ない。
  6. 補助金の活動を実施する場合、実施国あるいは実施地域の伝統と文化に配慮すること。
  7. 補助金参加者の利害の対立に関する方針を遵守すること。
  8. ロータリーの標章の適切な使用に関する方針を遵守すること。

注：内容の詳細は[TRFへアクセス](#)してご覧下さい。

# グローバル補助金での提案書の内容

1. プロジェクトがロータリー財団の使命に準拠しているか。
2. プロジェクトへのロータリアンの参加数。
3. 明確な資金の流れ。
4. プロジェクトが地域に与える影響と効果。継続性(将来性)。
5. ロータリーのイメージの高揚。
6. 相手がアメリカの制裁国でない。

など

**地区財団委員会はクラブのアクティビティを強かにサポート!!**

# 地区ロータリー財団の資金・事業の管理

- ① 地区財団監査委員会の新設
  - ② 地区補助金監督委員会の新設
  - ③ 地区補助金管理セミナー(2010-11年度は2回)(2012-13年度は4回)  
(地区は開催義務がある。)
  - ④ PETS
  - ⑤ 地区協議会
  - ⑥ 地区ロータリー財団セミナー
  - ⑦ ガバナー補佐研修
- など

(2650地区では年に2回開催)

①②は新設義務。 ③はクラブは参加資格獲得するために出席義務。

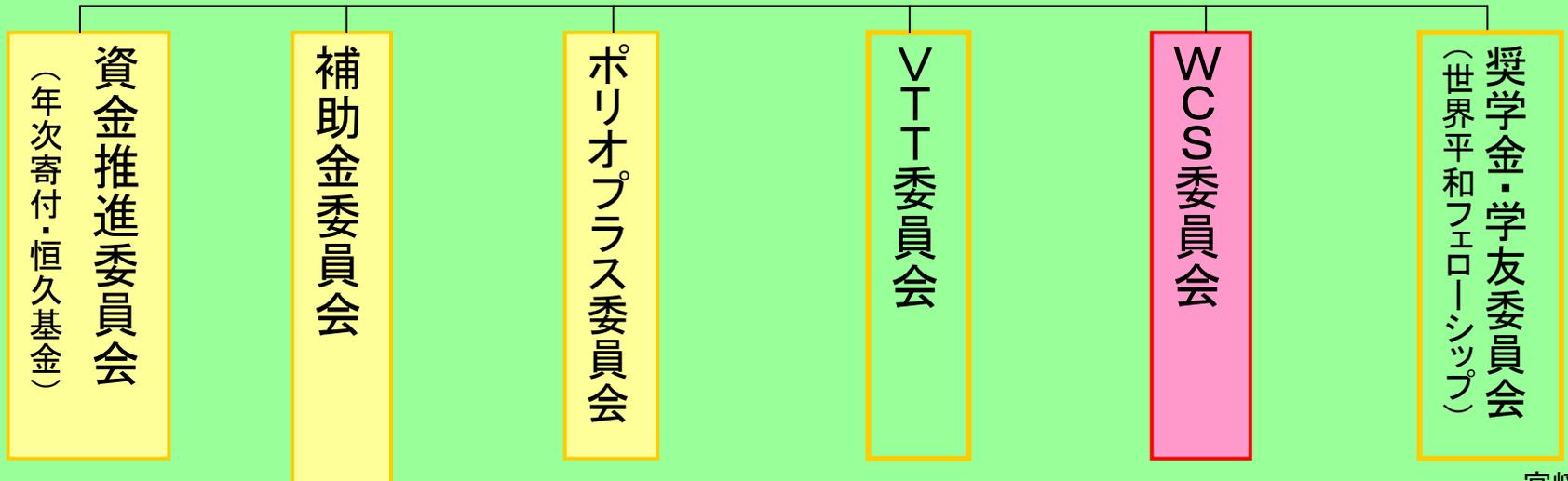
# 地区小委員会編成の歩み①

【2010～11年度】

ロータリー財団(8委員会)



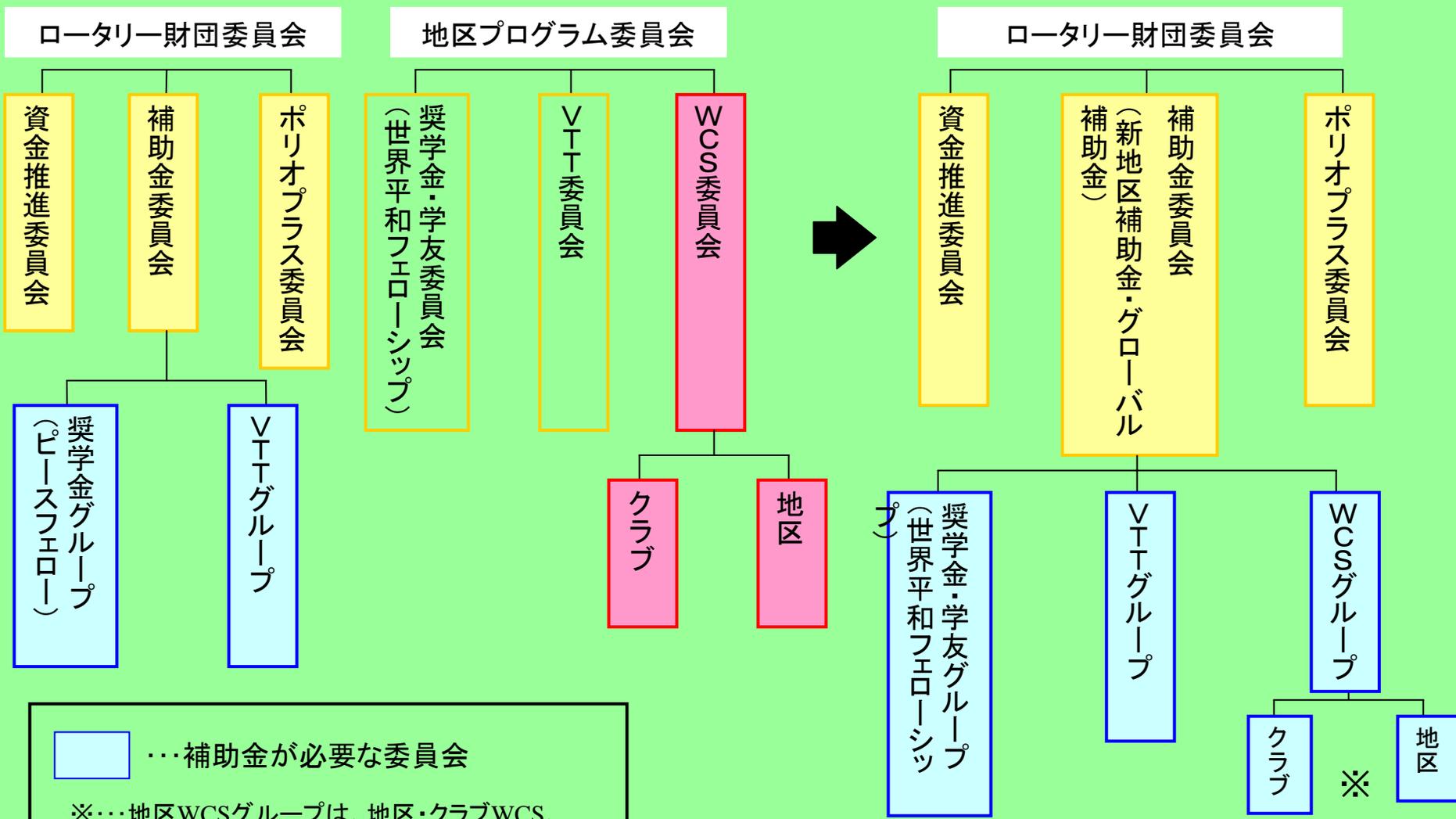
2650地区 地区財団委員会



# 地区小委員会編成の歩み②

【2011～12年度】

【2012～13年度】



…補助金が必要な委員会  
 ※…地区WCSグループは、地区・クラブWCS、WCS委員会とコネクションを保つ

# 資金推進委員会

1. 資金推進のためのクラブ訪問。(97クラブ)
  - ・ 委員数が少なくて負担が大変(委員数の増加)
  - ・ 補助金、ポリオプラス委員会からも応援
2. 資金推進・補助金・ポリオプラス各委員会は横の連携を(協議会)
3. 地区財団委員会は上記3委員会が理想。
4. TRFに対して、(委員会の意見)
  - ・ TRFの財務報告をもっと詳しく
  - ・ グローバル補助金の対象は、パイロット地区同士は廃止。
  - ・ 資金投資を見直す。

など



# クラブの参加資格(覚書)

1. 参加資格条件
2. 参加資格に関するクラブ指導者の責務
3. 財務管理
4. 書類の保管
5. 補助金資金の使用に関する報告
6. 補助金資金の不正使用に関する報告と解決の方法

注:  
内容の詳細はTRF  
にアクセスしてご覧  
下さい。

承認と同意 → 地区へ提出

\_\_\_\_\_ロータリー・クラブの補助金活動の実施責任者として、私たちは、当クラブがこの「覚書(MOU)」に記載された要件を遵守することを証し、また、これらの要件に関してクラブの方針や手続きに変更または修正が加えられた場合は国際ロータリー第 **2650 地区** にその旨通知します。

クラブ会長	
就任年度	
氏名	
署名	
日付	

クラブ会長エレクト	
就任年度	
氏名	
署名	
日付	

# シェア・システム

年次プログラム基金・恒久基金

3年間の投資

年次プログラム基金と→3年間投資した利息  
恒久基金は利息のみ

シェア

50%

50%

地区が管理

管理委員会が管理

地区財団  
活動資金  
(DDF)\*

国際財団  
活動資金  
(WF)

その他  
(現金、用途指定寄付、  
冠名基金など)

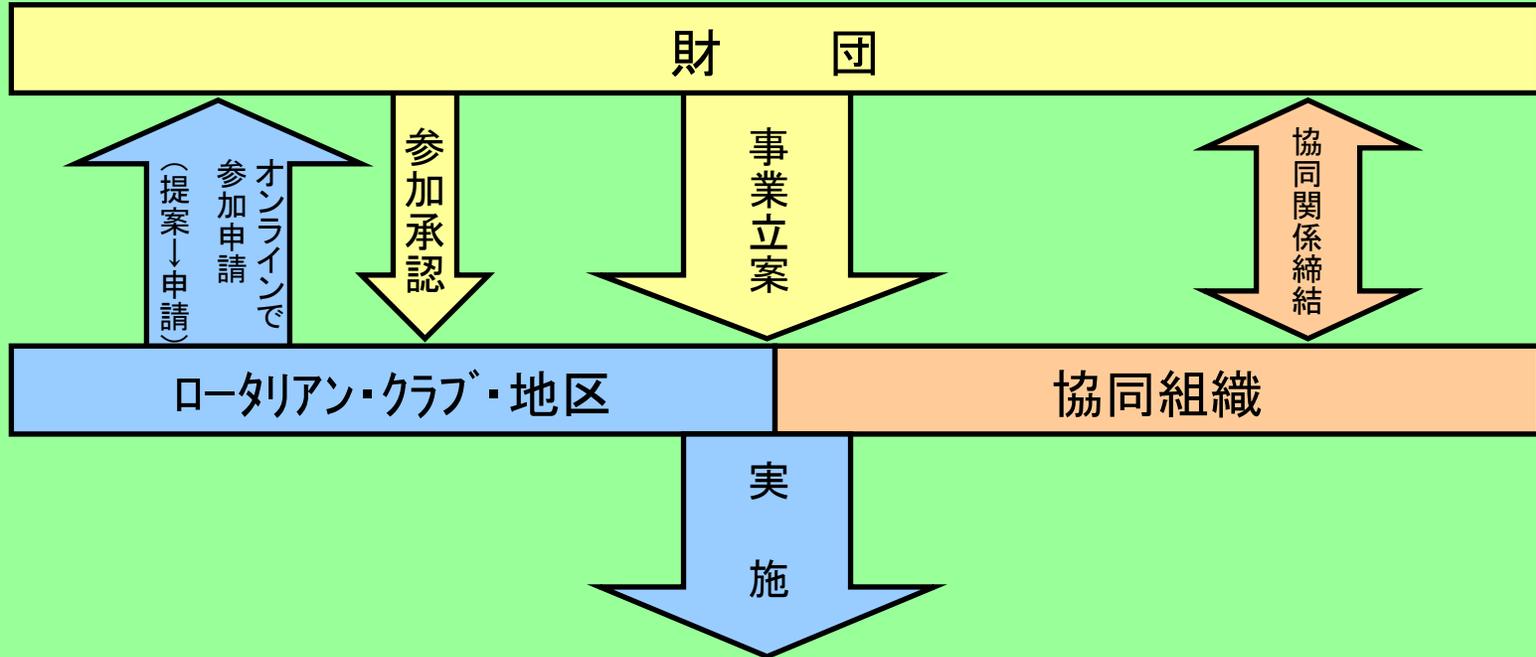
50% (最高)

50% (最低)

新地区補助金

グローバル補助金  
(DDFと現金にWF  
を組み合わせ)

# パッケージ・グラント



## 奉 仕 事 業

- 補助金の下限 \$ 50,000～上限は相談次第
- 財団が立案し、協同組織と合同で、長期的で大規模なプロジェクト外を実施する。
- 資金は100%WFと協同組織からもたらされる。
- ロータリーがプロジェクトの実施にあたる。
- 地区は、DDFを寄贈して、スポンサーとなることもできる。
- 平和と紛争予防/紛争解決
- 疾病予防と治療
- 母子の健康
- 水と衛生設備
- 基礎的教育と識字率向上
- 経済と地域社会の発展

# 新地区補助金 事務記録(業務の流れ)

事務内容	日付等の記録
新地区補助金個別プロジェクト申請の案内 地区→各クラブ	2010年2月1日 発送
個別プロジェクト審査	2010年5月22日 実施
「2010-11年度 新地区補助金申請書」提出 地区(オンライン) 財団	2010年5月24日スタート・26日完了 オンラインで提出
補助金授与計画の提出 地区(オンライン) 財団	2010年5月24日スタート・26日完了 オンラインで提出
個別プロジェクト補助金交付通知 地区→各クラブ	2010年5月27日 発送
2010-11年度 新地区補助金承認 財団→地区	2010年6月15日承認通知受領 補助金番号#25062
新地区補助金振込確認 日本事務局→地区	2010年7月13日入金 ¥24,996,389.-
個別プロジェクト補助金送金 地区→各クラブ	2010年7月28日振込 24件 10,296,190円 振込手数料 17,010円 2010年8月2日振込 6件 6,058,600円 振込手数料 4,200円 2010年8月6日振込 2件 826,320円 振込手数料 1,680円 2010年8月20日振込 8件 3,186,310円 振込手数料 6,090円 2010年9月10日振込 1件 2,299,160円 振込手数料 840円 2010年10月12日振込 1件 1,167,560円 振込手数料 840円 2010年10月22日振込 1件 1,131,075円 振込手数料 525円
「2010-11年度 最終報告書」提出 地区 → 日本事務局	2010年10月29日完了 オンラインで提出
2010-11年度 最終報告書承認通知・「closed」 財団→地区	2010年11月25日

・ 2650地区補助金委員会作成

# 補助金の上手な配分

- 地区補助金の残額は極少なくする。（奨学金、WCS、VTT、クラブでの奉仕など各プロジェクトの配分を決めておく）
- グローバル補助金を積極的に利用する。（奨学金、VTTへの配分を多くする⇒奨学生の推薦。VTTの実現。）
- 大きな継続的なWCSなどを積極的に!!

# 新地区補助金プロジェクト分野別一覧表

【2010～11年度】

識別	分野	件数(件)	補助金額(\$)
イ	奨学金	7	62,200
ロ	教育・全般	4	21,000
ハ	教育・職業訓練	5	26,700
ニ	教育・人道的	3	17,700
ホ	地域・環境	5	17,300
ヘ	地域・人道的	4	29,500
ト	地域・全般	5	21,400
チ	地域・健康、医療	2	17,300
リ	地域・経済、開発	1	7,000
ヌ	海外・識字、教育	4	25,700
ル	海外・職業訓練	1	3,200
ヲ	海外・災害復興	1	10,000
ワ	ボランティア奉仕活動	1	12,700
合計		43	271,700

・地区6件(奨学金など)

・クラブ37件

・2650地区補助金委員会作成

# 新地区補助金プロジェクト 収支表

【2010～11年度】

収入	RI→地区 振込日	振込総額(ドル)	振込総額(円)	(為替レート)
	2010年7月13日	271,700	24,996,389	92
	利息		262	
	合計	271,700	24,996,651	

支出	プロジェクト数	43
	振込補助金額	24,965,215
	振込手数料	31,185
	合計	24,996,400

収支	収入 (円)	支出 (円)	残金 (円)
	24,996,651	24,996,400	251

\* 残金は出来るだけ小額にする。

# 新地区補助金プロジェクト分野別一覧表

【2011～12年度】

識別	分野	件数(件)	補助金額(\$)
①	教育・奨学金	3	24,000
②	教育・全般	6	24,000
③	教育・人道的	3	10,650
④	地域・環境	5	26,500
⑤	地域・災害復興	5	44,850*
⑥	地域・人道的	8	34,300
⑦	地域・文化財保護	1	5,000
⑧	海外・識字・教育	3	20,500
⑨	海外・健康・医療	2	26,000
合計		36	215,800

・地区1件  
・クラブ35件

・2650地区補助金委員会作成

\* 東日本大震災やWCSに対するものが多く、クラブが行なっているもの。

# グローバル補助金事業状況一覧表

【2010～11年度】

	グローバル・ グラント番号	重点分野	プロジェクト概要	実施国	予 算	RID2650 使用DDF額	実施国代表
							援助国代表
WCS	25047	疾病予防 と治療	トルコのアンカラ医科大学へ、 気管支の腫瘍に対する気管支鏡 治療に有効なアルゴンプラ ズマ凝固装置を寄贈する。	トルコ	45,360 ドル	15,680 ドル	Ankara Gazionsmanpasa R.C
							RID2650
closed (2011.2.18)							
WCS	25043	水と 衛生設備	ケニアにおけるマサイ地域での水 プロジェクト	ケニア	198,500 ドル	20,000 ドル	NairobiEast R.C
							RID2650
承 認 (2011.3.17)							
WCS	25040	母子の健康	フィリピンの貧困層のために、予防接 種率向上のための一斉投与を含めた 定期的なアウトリーチシステムの確立と 母子保健状態の向上のためのヘルス ワーカー定期巡回システム構築プロ ジェクト	フィリピン	143,000 ドル	70,500 ドル	RID3810
							RID2650
承 認 (2011.6.14)							
WCS	25409	基礎的教育と識 字率向上	タイ北部山間少数民族の 教育施設の修繕と教育改善 プロジェクト	タ イ	185,600 ドル	85,750 ドル	チェンマイR.C
							敦賀R.C
申 請 中							
WCS	25493	水と 衛生設備 (災害復興)	八戸海岸駐車場公衆便所 震災復旧工事	日 本	323,125 ドル	100,000 ドル	八戸南R.C (協同提唱 RID2650)
							南浦項R.C (韓国)
申 請 中 (2011.5.6)							
VTT	25507	疾病予防 と治療	インドネシアにおける糖尿病等の 生活習慣病の医療の技術指導を 目的とした職業研修チーム派遣 (VTT)	インドネシア	168,760 ドル	82,880 ドル	RID3400
							RID2650
申 請 中							
奨学金	25480	疾病予防 と治療	アメリカ、カリフォルニア大学 サンディエゴ校に留学する 榎村教詩さんに奨学金授与	アメリカ	30,000 ドル	15,000 ドル	RID5340
							京都伏見 R.C
申 請 中							
奨学金		疾病予防 と治療	イギリス、ロンドンのロイヤルブ ロンプトンホスピタルの研究所 で研究する半田知宏さんに奨 学金授与	イギリス	50,000 ドル	25,000 ドル	京都東R.C
							京都東R.C
提案書提出							
却下		平和と紛争予防 ／紛争解決	イギリスのロンドン政治経済学院 に留学する松田朗克さんに奨学 金授与	イギリス	30,000 ドル	15,000 ドル	京都洛中 R.C
							京都洛中 R.C
提案書提出							

・ 2650地区補助金委員会作成

# グローバル補助金事業状況一覧表 (進行中のもの)

【2011～12年度】

	グローバル・ グラント番号	重点分野	プロジェクト概要	実施国	予 算	RID2650 使用DDF額	実施国代表
							援助国代表
クラブ事業	25409	基礎的教育と識 字率向上	タイ北部山間少数民族の 教育施設の修繕と教育改善 プロジェクト	タイ	185,600 ドル	85,000 ドル	チェンマイRC
	審査中	敦賀 RC					
VTT	25507	疾病予防 と治療	インドネシアにおける糖尿病等の 生活習慣病の医療の技術指導を 目的とした職業研修チーム派遣 (VTT)	インドネシア	168,760 ドル	82,880 ドル	マタラムR.C
	提案書提出	RID2650					
奨学金	25480	疾病予防 と治療	アメリカ、カリフォルニア大学 サンディエゴ校に留学する <small>うえむらあつし</small> 榎村敦詩さんに奨学金授与	アメリカ	30,000 ドル	15,000 ドル	RID5340
	承認(2011.7.27)	京都伏見 RC					
奨学金		疾病予防 と治療	イギリス、ロンドンのロイヤルブ ロンプトンホスピタルの研究所 で研究する半田知宏 <small>はんた ともひろ</small> さんに奨 学金授与	イギリス	50,000 ドル	25,000 ドル	RID1130 PaddingtonRC
	提案書提出 → OK	京都東 RC					
クラブ事業	25612	疾病予防 と治療	小児の呼吸不全に対して有効性 の高いNO吸引機器をアンカラ大 学病院新生児救急センターへ寄 贈する	トルコ	76,180 ドル	28,000 ドル	RID2430 AnkaraGaziosm anpasaRC
	承認(2011.7.18)	福井東 RC					
奨学金		経済と地域 社会の発展	イタリアのフェラーラ地区にある フェラーラ大学でイタリアの”社会 的協同組合”の仕組み学ぶ内田 友紀さんへの奨学金	イタリア	30,000 ドル	15,000 ドル	RID2070 FerraraRC
	提案書提出 → OK	福井フェニッ クスRC					

・ 2650地区補助金  
委員会作成

# 事業として困難なプロジェクト

## ① 奨学金プログラム（新地区・グローバル）

（留学先の大学の入学許可証取得しているもの）

- ・ 問題は地区・クラブの広報不足。
- ・ 地区・クラブの積極的な奨学生募集が弱い。
- ・ 制度の変革についていけない。（体制づくりが出来ていない。）
- ・ 地区とクラブの作業分担が明確でない。

など

## ② VTT(旧GSE)プログラム

- ・ 今迄のGSEとは全く別なプログラムとなる。（GSEの観念は全く捨てる、Exchangeではない。）
- ・ 職業研修である。（こちらが研修に行くのか、相手の研修を指導しに行くのかを明確にしておく。）
- ・ チーム編成が難しい。滞在期間が短くならざるを得ない。
- ・ 旅行ではない。
- ・ 新地区・グローバル、何れでも可能であるが、費用が多くかかるので、2650地区はグローバルのみに限定した。
- ・ パイロット地区が相手であり、制限される。相手が乗り気でない。（交渉だらだら、時間がかかる）

など

# 調査報告書

R I D 2 6 5 0

## 2010-11年度 財団補助金年次財務調査書

調査内容	評価
支出項目をいくつか選び、証拠資料と照合し、確認する	
補助金の「授与と受諾の条件」に則って資金が使用されたことを確認するため、支出の全項目を見直し、問題のないことを証する	
用いられた購入手続きがあれば、これを特定し、適切であったことを確認する	
銀行残高調整の記録を見直し、これらが正しく行われたこと、また、開始残高が補助金活動の財務記録および銀行明細書と一致していることを確認する	
ロータリー財団の書類維持に関する要件を順守していることを確認する	

以上、年次財務調査の結果、財団補助金資金の財務管理が適正であり、その管理システムが正常に機能していることを証します。

財団補助金年次財務調査実施日：2011年8月6日

地区ロータリー財団監査委員会	委員氏名	署名	印
	福井正典		
	橋本長平		
	高橋一浩		

R I D 2 6 5 0

## 2010-11年度 補助金監督委員会調査報告書

調査内容	記述
補助金不正使用調査	
補助金不正使用解決措置	
財団への報告と改善策	

以上、補助金監督委員会の調査報告と致します。

補助金監督委員会調査報告書作成日：2011年8月6日

補助金監督委員会	委員氏名	署名	印
	公文俊一		
	勝見秀憲		
	北岡忠義		

・2650地区補助金委員会作成

宮崎 茂和

# 成功したこと ・ 反省していること

## 成功したこと

- 補助金、いわゆる金の流れが厳格に示され、管理・監督が充分であること。
- 表に示したように多岐にわたる財団活動をまあまあ80点くらいでやったこと。
- 世界で最も早くTRFから補助金を配分され、各クラブへと送金、そして最も早く報告書を提出完了、クローズになったこと。
- 地区の財団小委員会の中でも補助金委員会の活動が非常にアクティブで、他の小委員会との協調と連携がよかったこと。
- 最後に、栗田PDG・今西DG・河本DGEのご理解が素晴らしかったこと。

など

## 反省していること

- 奨学生は件数が減少したこと。地区として、クラブへの接触が弱く、大学などへの広報が不足した。
- VTTをグローバル補助金の対象にしたため、実現には非常に苦労している。
- 補助金委員会と事業3委員会との連携及び、情報の交換が不足していた。

など



# Enter to Learn Go forth to Serve



フィリピン、タクロバンのセントラル小学校でのスナップ写真 宮崎 茂和